



# 四中だより

Have a nice dream

立川市立立川第四中学校

令和2年度 第5号 校長 唐亀 康司

〒190-0002 立川市幸町 5-49-1

☎ : 042(536)2411 FAX : 042(534)6949

ホームページ : <https://www.tachikawa.ed.jp/jh04/>

E\_Maile : [tachikawajh04@giga.ocn.ne.jp](mailto:tachikawajh04@giga.ocn.ne.jp)

## 伝統を創る

さて、今日から2学期が始まります。今年は例年より短い夏休みでした。夏休みのしおりに、『やらない夏にするのではなく、やる夏にしてください。』と書きましたが、皆さんはどのような夏休みを過ごしましたか。「新しいことにチャレンジする」、「これまでやってきたことに継続して取り組む」どちらに取り組んだのでしょうか。夏休みに自分自身と向き合って取り組んだことが必ず自分自身の自信に繋がり、2学期の取組に繋がっていきます。2学期の取組を通して大きく成長していく皆さんの姿がたいへん楽しみです。

さて、「4中の伝統は？」と尋ねられたら多くの生徒が、「あいさつです。」と答えてくれます。伝統であるあいさつ。皆さん一人ひとりがしっかりと行えているでしょうか。あいさつを伝統にするために大切にしなければならないポイントを以下に書きました。当たり前のようにあいさつができている人は今一度あいさつの大切さを考えるきっかけに、まだまだかなと思っている人は、前向きに取り組むようにして、意味のあるものにしていきましょう。

### 【あいさつは】

『相手のことを考えて行うもの。』

『自分自身の心が表れるもの。』

『やらされるものではなく自ら行うもの。』

では、皆さんは、「なぜあいさつをするのか」考えたことがありますか。その答えは、私たちは一人で生きているのではなく周りの人たちと協力し合いながら生きているからあいさつをするということです。私たちは周りの人と関わらずに生きていくことはできません。その周りの人と、意見を交わしたりしながら生きていきます。また、あいさつをする相手に「私は元気です。」と伝える意味や、相手に対して「元気ですか？」と問いかけるという意味もあります。人と関わっていくスタートの言葉として、相手へ思いを込めた『あいさつ』をすることが大切であるということです。

それでは、皆さんが4中の伝統である『あいさつ』を充実させ、更なる伝統の歴史を作っていくためには何が必要なのでしょうか。それは一人ひとりが心を豊かすることができる人間関係を皆さんの中に構築していくことです。**皆さんは、2学期の学校生活において、まず、友達を大切にすることから始めてください。**友達を大切にしたいと思う気持ちが、心のこもった『あいさつ』につながり、その『あいさつ』により一人ひとりの心の充実が図られ、4中に温かい人間関係を作ることになります。ぜひ、皆さん一人ひとりの気持ちで、伝統を創ることができる4中を作っていきましょう。

校長 唐亀 康司